

G30の推進について

1 平成 22 年度の目標等について

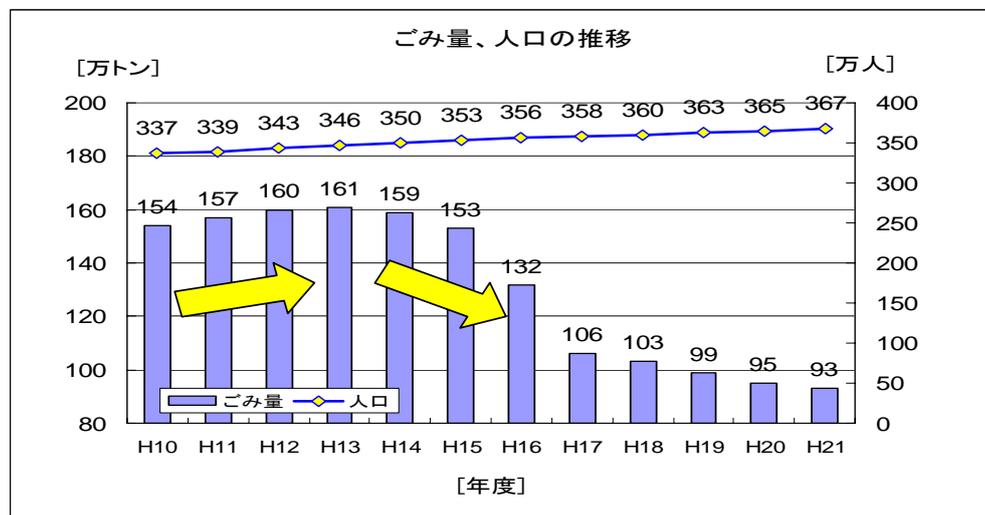
(1) 平成 21 年度 ごみ量実績 (速報値)

平成 21 年度のごみ量は約 93 万トンで、平成 13 年度に対して 42.2%の削減 (▲約 67 万 9 千トン) となり、目標の 94 万 9 千トン (▲41.0%) を達成しました。

このうち、家庭系ごみについては、34.6%削減 (▲約 32 万 3 千トン)、事業系ごみについては、52.8%削減 (▲35 万 6 千トン) となっています。

【単位:トン】

		平成 13 年度実績	平成 21 年度実績 対H13比	平成 21 年度目標 対H13比
市全体		1,609,155	929,990 -42.2%	949,000 -41.0%
内 訳	家庭系ごみ	934,761	611,520 -34.6%	621,000 -33.6%
	事業系ごみ	674,394	318,470 -52.8%	328,000 -51.4%



(2) 平成 22 年度 目標

平成 22 年度は、「横浜 G30 プラン」の最終年度にあたります。市民・事業者のみなさまとともに、さらなるごみ減量に取り組むため、「ヨコハマは G30」推進本部会議で次のとおり目標を定めました。

「G30 の集大成の年度として、

これまでの市民・事業者のみなさんとの協働の成果である

40%台の削減率を維持しましょう」

今後もごみ量をリバウンドさせずに、目標を達成するため取り組みを進めてまいります。

2 収集運搬業務委託の状況について

効率化の推進のため、16年度から家庭ごみ収集運搬業務の委託を開始し、その後、順次拡大を図ってきました。

22年度は、以下のとおり収集業務を民間委託しています。

(1) 22年度民間委託の内容

- ① プラスチック製容器包装収集運搬業務委託
16区（中区、栄区以外の全区）
- ② 家庭ごみ収集運搬業務委託（家庭ごみ全品目の収集）
2区（中区、栄区）
- ③ 缶・びん・ペットボトル収集運搬業務委託
1区（西区）
- ④ 粗大ごみ収集業務等委託
13区（4地区：西部地区、北部地区、東部地区、中央地区）
5区（1地区：南部地区）は、(財)横浜市資源循環公社に委託

(2) 委託業務の履行状況

プラスチック製容器包装の収集委託において、年度当初の4月は、新規参入業者等が業務に不慣れなことから、一部で収集作業の遅延や取り忘れ等が発生しました。このため、当局事務所がバックアップを行い、業務の安定化を図りました。

現在は概ね改善され、収集の遅延はありませんが、市民サービスの低下を招くことのないよう、引き続き履行を確認していきます。

なお、粗大ごみについては、中央地区（西区、中区、南区）で委託業者が粗大ごみを収集しないなど業務不履行となったため、4月19日をもって委託契約を解除しました。

現在は新たな民間業者と契約し、円滑な業務の履行が図られています。